

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名【新】校内研修活性化サポート事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 教育研修課 研修企画係 電話番号：058-271-3450(内26)

E-mail：c17781@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,000 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	4,000		0	0	0	0	0	0	4,000
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・「教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律」（R5.4.1施行）により、教員免許更新制が発展的解消となったと同時に、各学校の課題に対応した協働的な学びを学校組織全体で行い、効果的な学習活動に繋げるよう、校内研修を活性化させることが指針で明記された。
- ・現状は、任命権者が主催の研修充実を図ってきたが、学校が主体となる校内の継続的な研修は、全国平均を下回る状況にあるなど校内研修の充実が課題となった。
- ・学校長は、校内研修の必要性を感じながらも、効果的な研修実施の方法を開発することに苦勞をしており、モデル的な校内研修プログラムが必要だと考えている。

(2) 事業内容

- ・「校内研修活性化サポート事業実施校」40校を毎年、募集して支援を実施（内容：校内研修に外部講師を招聘、研修に必要な書籍等の購入に要する経費）
- ・40校の取組を実践事例として、校内研修モデルプログラムとして、各学校の課題に応じた校内研修に活用する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・県10/10（地方公務員法：研修は任命権者が行うもの）

(4) 類似事業の有無

- ・無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	3,120	外部講師報償費
旅費	480	外部講師旅費
消耗品費	400	研修に必要な書籍等
合計	4,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 第3次岐阜県教育ビジョン
基本方針4「勤務環境の改革と教職員の資質向上」
(24) 優れた教職員の確保と資質・能力の向上

(2) 国・他県の状況

- 同様な事業の開催状況
名古屋市 教育研究推進事業（校内研修）
総事業費（R4：380万円、R5：430万円）

(3) 後年度の財政負担

- ・学校での課題に類似性はあってもアプローチ手法が異なるため、多くのプログラム開発や時代に即した課題への対応が必要であることから、5年程度継続し効果を検証する。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・第3次岐阜県教育ビジョンに示されている通り、教職員が自主的・自律的に学ぶ姿勢をもち、自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を高めていける研修の充実の一環となる。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 研修主事など、校内で研修の中核的な役割を担う分掌の設置といった研修推進体制の整備に伴い、本事業に応募する40校に対し校内研修への支援を行い、その成果を実践事例として県内各校に還元することで、校内における学び合いを活性化し、ペーパーティーチャーからの講師を含む全教職員の資質能力の向上を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

学校における校内研修の実施状況や、研修実施による資質向上の効果等は、指標設定にそぐわないため。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 3	免許更新制度の発展的解消に伴い、最新の教育事情等の知見が得られる場として、校内研修の充実が求められている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	